

# 岐阜キリシタン小史(18)―美濃(尾張)キリシタン年表 江戸時代③―

※この年表は森徳一郎氏著『尾濃切支丹年表』(1935)を基に作成した。

西暦	和暦	地域区分	キリシタンに関わること	日本の主な出来事
1630	寛永7	全国		●幕府がキリスト教関連の書籍を禁止する
1631	寛永8	尾張	尾張で大規模な穿鑿があり、57名が検挙された。そのうち、一宮のコスモ道閑、兵右衛門、庄五郎および高木村(現在の扶桑町高木)の久三郎の4人が火焙りに処せられ、残り53名は牢につながれ、その中には道閑の妻や久三郎の妻娘らもいた。尾張藩での初めての火焙りの極刑。 一宮でポール兵右衛門とその息子シモン・コスムとレヲン庄五郎が焼殺された。名古屋でも新たな殉教者があった。そのほかに三重で3名、高木村で9名、駿河で5名、三河で5名、御油(豊川市御油町)で5名、吉田(豊橋市吉田町)で2名、牛久保(豊川市牛久保町)で1名等の殉教があった。 また、3月28日、キリシタン44名が江戸送りとなった。	 コスモ道閑らの処刑跡 (一宮市 一本松処刑場)
1633	寛永10	美濃	美濃の信者トーマ・ニンフォルが長崎で火刑に処せられた。	●幕府がキリシタンの密告者の賞金額を定め発令
1635	寛永12	尾張	9月10日、幕府より尾張藩に御改めの奉書が到着。尾張藩は懸賞捜索の令を発し、藩内各地に制札を建てられた。 10月、尾張藩は寺尾左馬助ら9名に藩内を巡察させた。 11月21日、将軍が尾張藩士兼松正成を召し、尾張藩の迫害を嘉賞し、尚入念に吟味するよう命じた。	
1637	寛永14	長崎		●島原の乱
1638	寛永15	長崎 全国		●島原の乱鎮圧、37,500人が殉教 ●幕府、キリシタン捜査賞金を増額
		尾張 美濃	《この頃までにキリシタンを出した村とキリシタン人数》 *尾張 葉栗郡・中島郡12 *美濃 羽栗郡26 恵那郡11 厚美郡47 石津郡4 武儀郡36 池田郡4 加茂郡21 大野郡13 可児郡33 本巢郡12 不破郡3 方縣郡3 山縣郡1 各務郡13 石津村12 安八郡28	
1639	寛永16	尾張		●将軍家光、尾張藩その他大名を召し、禁教につき厳命 ●幕府、キリシタンの渡海厳禁する三ヶ条を出す
1641	寛永18	尾張		●幕府、尾張藩に取締を入念にするよう命令、その後更に御改め厳令を出す